



祝
入学

臨床検査技師
になるための
オリエンテーション

2025

最新

2025 年春

臨床検査学講座シリーズ〈全27巻〉

チーム医療論／多職種連携・ 栄養学・薬理学・認知症

B5判 208頁 定価3,300円(税10%込)

臨床検査総合管理学 第3版

B5判 200頁 定価3,080円(税10%込)

医療安全管理学 第2版

B5判 136頁 定価2,750円(税10%込)

一般検査学

B5判 176頁 定価3,080円(税10%込)

医動物学 第2版

B5判 152頁 定価2,860円(税10%込)

遺伝子関連・染色体検査学 第3版

B5判 248頁 定価4,730円(税10%込)

病態学／臨床検査医学総論 第3版

B5判 448頁 定価6,160円(税10%込)

生理機能検査学 第3版

B5判 456頁 定価6,710円(税10%込)

臨床化学検査学 第3版

B5判 480頁 定価6,270円(税10%込)

放射性同位元素検査技術学 第2版

B5判 128頁 定価2,420円(税10%込)

病理学／病理検査学

B5判 442頁 定価5,720円(税10%込)

血液検査学 第3版

B5判 320頁 定価6,160円(税10%込)

臨床微生物学 第2版

B5判 456頁 定価6,490円(税10%込)

免疫検査学／ 輸血・移植検査学 第2版

B5判 464頁 定価6,270円(税10%込)

公衆衛生学 2025年版

B5判 232頁 定価3,190円(税10%込)

保健医療福祉概論

B5判 120頁 定価2,860円(税10%込)

関係法規 2025年版

B5判 192頁 定価2,750円(税10%込)

医用工学概論

B5判 208頁 定価2,970円(税10%込)

情報科学

B5判 168頁 定価2,200円(税10%込)

検査機器総論 第2版

B5判 328頁 定価3,630円(税10%込)

解剖学

B5判 228頁 定価3,960円(税10%込)

生理学

B5判 184頁 定価2,860円(税10%込)

生化学

B5判 272頁 定価4,070円(税10%込)

化学

B5判 260頁 定価3,190円(税10%込)

物理学

B5判 128頁 定価2,530円(税10%込)

数学／統計学

B5判 172頁 定価2,640円(税10%込)

臨床検査学講座 生物学 第3版

B5判 228頁 定価2,860円(税10%込)

臨床検査学実習書シリーズ〈全10巻〉日本臨床検査学教育協議会 監修

臨床検査学 基礎実習 A4判 144頁 定価3,300円(税10%込)

臨床化学検査学 実習書 A4判 152頁 定価3,300円(税10%込)

血液検査学 実習書 A4判 182頁 定価3,740円(税10%込)

輸血・移植検査学 実習書 A4判 132頁 定価3,300円(税10%込)

免疫検査学 実習書 A4判 184頁 定価3,960円(税10%込)

遺伝子検査学 実習書 A4判 190頁 定価3,960円(税10%込)

一般検査学 実習書 A4判 120頁 定価3,520円(税10%込)

病理検査学 実習書 A4判 172頁 定価4,180円(税10%込)

微生物検査学 実習書 A4判 194頁 定価3,960円(税10%込)

生理機能検査学 実習書 A4判 224頁 定価4,400円(税10%込)



医歯薬出版株式会社 <https://www.ishiyaku.co.jp/>

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
電話 03-5395-7610 FAX 03-5395-7611

本書の利用法



臨床検査技師を目指して入学された皆さま、おめでとうございます。

これからの学生生活をより楽しく、実りあるものにするために『臨床検査技師になるためのオリエンテーション 2025』をお届けいたします。

本冊子は、まず臨床検査技師を目指す皆さまへのメッセージから始まります。入学された臨床検査技師養成校の所属する、日本臨床検査学教育協議会より、臨床検査技師になるためには、**どのような心がまえで学生生活にのぞむことが大切か**をお伝えしています。

さらに、日本臨床衛生検査技師会、日本衛生検査所協会からも励ましと応援のメッセージをいただいております。これから何を学び、何を身につけ、どのような臨床検査技師を目指すのかなど、学生生活のスタートにあたり、ぜひ参考にしてください。

次に「**科目紹介**」として、これから実際に学ぶ科目についてわかりやすく説明しています。科目ごとに、何を目的にして学ぶのか、専門職として何を求められるのか、また学習のポイントや役立つ教科書についても紹介しています。

そして、皆さまが気になる「**国家試験**」についても、入学から卒業までの流れ、国家試験の仕組みや実際についてくわしく説明しています。

さらに、「**卒業後の道—就職について**」では、卒業後の進路についてどのような道が開かれているのか、進路や就職先を具体的に紹介しています。臨床検査技師の活躍するフィールドは大きく広がっていますので、ぜひ将来に向けた学習の参考にしてください。

本冊子を活用いただくことで、皆さまの学生生活が豊かなものになれば幸いです。そして、将来これを読み返し、初心に立ち返ることで、新たな気持ちで勉学に励まれるための参考にしてください。

新入生の皆さま、臨床検査技師への第一歩を力強く踏み出してください。

2025年4月

医歯薬出版株式会社

臨床検査技師になるためのオリエンテーション 2025

CONTENTS

本書の利用法	1
CONTENTS	2
臨床検査技師を目指す皆さんへ	坂本 秀生 (日本臨床検査学教育協議会) 3
日本臨床衛生検査技師会からのメッセージ	横地 常広 (日本臨床衛生検査技師会) 4
日本衛生検査所協会からのメッセージ	久川 芳三 (日本衛生検査所協会) 4
科目紹介	
基礎分野	
科学的思考の基盤 / 人間と生活・社会の理解	伊藤 昭三 (日本医療科学大学) 5
専門基礎分野	
人体の構造と機能	稲津 明広 (金沢大学) 5
臨床検査の基礎とその疾病との関連	勝田 仁 (九州大学大学院) 6
保健医療福祉と臨床検査	川村 堅 (女子栄養大学) 7
医療工学及び医療情報	嶋津 秀昭 (北陸大学) 7
専門分野	
病態学	東田 修二 (東京科学大学) 8
血液学的検査	關谷 暁子 (北陸大学) 9
病理学的検査	古田 玲子 (北里大学) 10
尿・糞便等一般検査	宿谷 賢一 (順天堂大学) 11
生化学的検査	松下 誠 (群馬パース大学) 12
遺伝子関連・染色体検査	片岡 佳子 (徳島大学大学院) 13
免疫学的検査	窪田 哲朗 (つくば国際大学) 14
輸血・移植検査	小野川 傑 (埼玉医科大学) 15
微生物学的検査	大澤 佳代 (神戸常盤大学) 16
生理学的検査	加賀 早苗 (北海道大学大学院) 17
臨床検査総合管理	菅野 光俊 (福島県立医科大学) 18
医療安全管理	菅野 光俊 (福島県立医科大学) 18
臨地実習	市野 直浩 (藤田医科大学) 19
臨床検査技師国家試験合格へのスケジュール	20
国家試験について	坂口みどり (九州医学技術専門学校) 22
卒業後の道—就職について	三村 邦裕 (東京医療保健大学) 23

[冊子内の所属・肩書は2025年3月現在で表記しています]

臨床検査技師を目指す皆さんへ

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。期待と不安で胸がいっぱいだと思いますが、専門知識や技術は学校でしっかりと教えてもらえますので、安心して新生活の一步を踏み出しましょう。

社会から臨床検査技師への期待は大きく、令和3年の法改正で臨床検査技師の行えることが増え、教育内容も令和4年入学生から大きく改正されました。皆さんはバージョンアップした臨床検査技師教育を受ける学生として、これまで以上にチーム医療の現場で大きな役割が期待されています。

そのような皆さんへ、臨床検査技師養成校が所属する一般社団法人日本臨床検査学教育協議会の理事長として、学生時代を通じてご自身の付加価値が高まるよう、メッセージをお届けします。

1. 学校での出会いを大事に

臨床検査技師という同じ目標を持つ仲間と過ごす時間は貴重です。ぜひ勉強以外のこともたくさん吸収してください。将来、さまざまな分野で活躍されるにあたり、悩みや困難に直面するかもしれません。そんな時、力になってくれるのは、これから苦楽を共にする母校の仲間たちや教職員です。同級生だけでなく、先輩や後輩、教職員を含めた身近な方との交流を大切にしましょう。卒業後、学会や研修会などで同窓生たちと再会し、そこから新たな知見^{だいごみ}を広げられることも、臨床検査技師の醍醐味です。

2. 時間を有効に使いましょう

検査結果を正確・迅速に提出しつつ、複数の業務を同時に行うには、時間管理が重要です。学年が上になると実習やレポート作成も増えますから、日頃から適切な時間管理を心がけましょう。また、通学時間を利用することも大事です。勉強だけでなく、新聞や本を読む、スマートフォンでニュースを確認するなど、専門以外の情報にも日頃からふれていると、豊かな人生を過ごすことが出来ます。そして、時間を有効に使うことで、勉強だけではなく、きちんとリフレッシュをすることも成長には大切です。

3. 失敗を恐れずに

「失敗は成功の元」と言われるのは、失敗後に工夫することで経験値が上がり、結果的に成長できるからです。これは勉強だけでなく、人間関係においても同じです。同級生、先輩、後輩、サークル仲間など、皆で意見をぶつけ合いましょう。言い過ぎてギクシャクすることがあるかも知れませんが、学生時代の苦い経験は実社会で必ず役に立ちます。臨床検査技師は、チーム医療の一員として大きな役割が求められていますので、学生時代から人間関係を築くことに馴染んでおけば卒業後にも役立ちます。

4. 言葉には力があります

将来の希望があるからこそ、臨床検査技師を目指していると思います。それを実現するためにも、思いを言葉にしてください。「社会に役立つ」「地元で就職する」「研究者になる」「世界を相手に仕事をする」など、漠然としたことでも言葉にすると、意識が目標へ向かい生活態度も変わります。皆さんの将来は、自分次第で開けます。限界を決めず、大きな希望をもって、ぜひ自分の思いを言葉にしましょう。

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会 理事長
神戸常盤大学保健科学部医療検査学科 学科長／教授

坂本秀生



日本臨床衛生検査技師会からのメッセージ



一般社団法人
日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長

横地 常広

新入生に期待する

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技と略す）は、我が国唯一の臨床検査技師の職能団体であり、全国の医療機関や検査技師養成校等で勤務する71,352名（令和6年10月31日現在）の会員で構成されています。

日臨技は、47都道府県に所在する臨床（衛生）検査技師会と連携を図り、卒後教育の一環として、医療現場で求められる臨床検査の「知識・技術」の習得に向けた各種研修会や学会などを開催するとともに、会員の「自己キャリアプラン」を支援しています。また、臨床検査技師の認知度向上に向けた広報活動や、10年後、20年後も臨床検査技師として働き続けられる環境を整えるために、業務拡大などの法整備、処遇改善に向けた渉外活動を展開しています。

ご入学された皆さんは期待と不安で胸がいっぱいのことと思いますが、一緒に入学された皆さんで切磋琢磨し、質の高い医療を提供するための知識・技術の習得に努め、まずは、国家資格を取得しましょう。

昨今の技術革新による、更なる自動化や生成AIなど臨床検査を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。しかし、医療現場において検査データは欠かすことのできない情報です。検査の専門家として、「臨床現場や患者に信頼される臨床検査技師」を目指して頑張りましょう。

日本衛生検査所協会からのメッセージ



一般社団法人
日本衛生検査所協会
会長

久川 芳三

臨床検査の社会的使命のために

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日では臨床検査は、医師が日常臨床において行う的確な診断、治療、および経過観察だけではなく、予防医学の健診においてもこれまで以上に必要不可欠な分野となりました。臨床検査において精度と正確さは何よりも重要です。

当協会は、全国の登録衛生検査所が会員となり「検査精度と技術の高度化をもって国民の健康保持及び増進に寄与する」という理念を掲げて設立されました。現在衛生検査所は、国内の臨床検査の約90%を受託し実施しています。科学技術の発展に伴い、高度テクノロジー、大規模検査機器が導入され、現在は遺伝子関連検査が注目を集めるなど、検査の在り様は変化し続けています。しかし、過去から繋いできた我々の理念、想いが変わることはありません。

我が国に国難をもたらした新型コロナウイルス感染症は、この理念の重要性をあらためて我々に突き付けました。さらに臨床検査には、大規模災害対策、医療DXへの対応など様々な検討すべき課題があります。

あらためて臨床検査技師の持つ責任に不安を感じておられるかもしれません。しかし、皆さんは決して一人ではありません。皆さんが立たれたそのスタートラインには、同じく臨床検査技師を目指す多くの仲間がいます。そして皆さんが目指す道の先には多くの先輩たちがいます。新興感染症の社会的影響、そして臨床検査の重要性を体感されてきた中で、生涯の職業として臨床検査技師を選択して入学された今の思いを持ち続け、歩んでいただきたいと思います。

当協会でも、衛生検査所の従業者の方々に対して、医療従事者としてふさわしい人材の育成と医療への貢献のため、最新の医学、生物学、化学や遺伝子の知識、検査に関する分析手法や精度管理技法などの卒後教育事業を実践しています。

皆さんが無事に臨床検査技師となられて、私達の職場の仲間となる日を心から願っております。



科学的思考の基盤／人間と生活・社会の理解

日本医療科学大学 保健医療学部 臨床検査学科 学科長 / 教授 伊藤 昭三

最先端の医学・医療を取り入れた内容について、カリキュラムに沿ってこれから学んでいくわけですが、まずは「基礎分野」として「科学的思考の基盤」「人間と生活・社会の理解」を身につけることになります。

検査技術は、医学・医療の日進月歩の前ではすぐに古くなり、AIの導入で今後さらに検査の考え方が変わっていくことも考えられます。そのためにも「科学的思考の基盤」として、思考力や洞察力を鍛えるような学び方を心がけ、科学的思考による課題発見能力、問題解決能力を身につける必要があります。

また、臨床検査技師は、検査を通じて患者さんと密接に関わります。良好な人間関係を構築するには、専門家である前に一人の人間として幅広く深い教養と、豊かな心を育み、自己コントロール、規律性、協調性、コミュニケーション能力を養うことが重要です。「人間と生活・社会の理解」として、人間関係論やコミュニケーション論等を学んでいきます。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座

『数学 / 統計学』『化学』『物理学』『チーム医療論 / 多職種連携・栄養学・薬理学・認知症』
臨床検査学講座 『生物学 第3版』 / 『臨床検査技師のための医学英語 第2版』

人体の構造と機能

金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 病態検査学講座 教授 稲津 明広

ヒトの身体の形態や構造について、目で観察する肉眼解剖学と、細胞などを見る組織学の観点から学びます。

肉眼解剖学の知識は、専門科目の「超音波検査学」へつながり、組織学は専門科目の「病理学的検査」の基礎となります。また、生体のメカニズムをそれぞれの臓器やシステム・機能について学ぶことで、「生理学的検査」「病態学」へと発展していきます。

生命現象を理解するのに必要な化学的な知識を習得し、さまざまな物質や、それが合成・分解する仕組み、そしてそれらがどのような生理的役割を担っているかについて学ぶことで、これらの知識は「生化学的検査」「栄養学・薬理学」へ引き継がれていきます。

臨床検査技師は、臨床検査の専門職として患者さんへの検査説明など、より具体的で正確な情報の提供が求められつつあります。ですから「人体の構造と機能」で学ぶ知識の重要性はますます大きく、より深くなるといえるでしょう。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座

『解剖学』『生理学』『生化学』『チーム医療論 / 多職種連携・栄養学・薬理学・認知症』



臨床検査の基礎とその疾病との関連

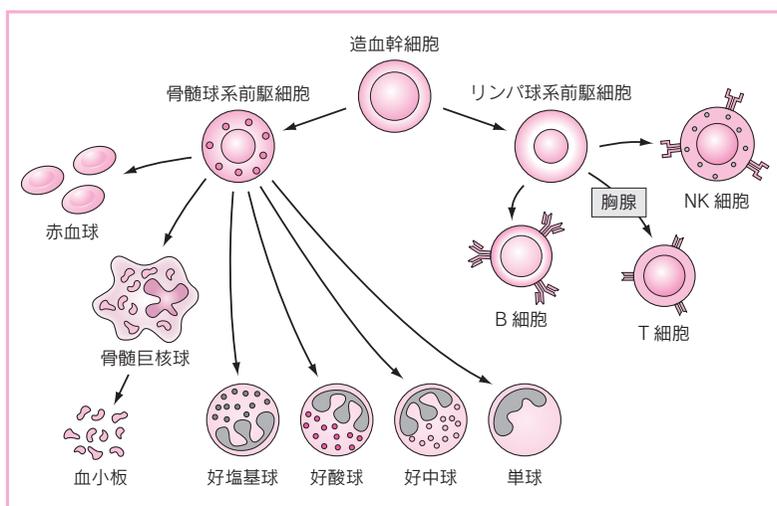
国立大学臨床検査技師教育協議会 理事長 勝田 仁
九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 教授

病気の治療はどのように進められるのでしょうか？ 患者さんが受診されると、医師はまず診察をして、優先順位をつけながら可能性のある疾患をリストアップします。そして、診断を確定するために病気の状態（病態）を評価する検査が実施されます。これらの検査データを元に治療法が選択され、治療後にはその効果を判定するための検査が行われます。効果が不十分と考えられる場合には、再び病態の評価のための検査が行われ、次の治療が行われます。

このように、臨床検査は、病気の診断、治療法の選択、治療効果の判定を行う上でとても重要な役割を果たしています。臨床検査データから病態を正確に把握するためには、臨床検査と疾病の関連を深く理解していることがとても大切です。

また近年、臨床検査の分野は、AI (artificial intelligence) をはじめとした科学技術の革新により急速に進歩しており、これからの臨床検査技師は、既存の検査法の精度向上や効率化だけでなく、疾患の診断、治療法選択、さらには治療効果判定に有用な新しい検査項目、測定法、測定機器の研究・開発を行う大切な役割も担っています。そのためには、病気が起こるメカニズム（発症機序）や、病気によりどのような異常が生じているのか（病態）を知っておくことがとても重要になります。

このように臨床検査と疾病の関連を学ぶ科目が、「病態学」「血液学」「病理学」「免疫学」「微生物学」などの科目です。それぞれの科目については、別項で紹介されますが、これらの科目を通して疾患の発症機序や病態を理解し、臨床検査技師として臨床の最前線で活躍するとともに、将来、ぜひ新しい検査項目や測定法、検査機器の研究・開発にも挑戦してください。



血液中の細胞の分化

『最新臨床検査学講座 免疫検査学／輸血・移植検査学 第2版』より

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座 『病態学／臨床検査医学総論 第3版』『病理学／病理検査学』
『臨床微生物学 第2版』『血液検査学 第3版』『免疫検査学／輸血・移植検査学 第2版』

保健医療福祉と臨床検査

女子栄養大学 栄養学部 公衆衛生学研究室 教授 川村 堅

私たちの生命や健康を守るためには、一人一人が生命や健康をおびやかす病気や災害などについて理解し、身を守る知識と技術を身につけて行動しなければなりません。しかし、医療体制の整備や、有害な物質による環境汚染問題などの解決には、個人の取り組みでは限界があるため、社会的な取り組みが必要となります。

公衆衛生は、人々の生命や健康を守る社会的な活動です。臨床検査技師は、医学検査を介して、公衆衛生の一環である医療や保健活動に貢献することが、社会的責務として求められています。

そのために、「公衆衛生学」「保健医療福祉概論」「関係法規」などの科目で、人々の健康状態をさまざまな調査結果に基づいて総合的に理解するとともに、医療・保健・介護などのあり方や関係する社会的なサービス・制度・法律、さらには社会や自然環境と健康との関わりについて学びます。

これらの学びが、皆さんの臨床検査技師としての礎となることを心から願っています。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座

『公衆衛生学 2025年版』『保健医療福祉概論』『関係法規 2025年版』

医療工学及び医療情報

北陸大学 医療保健学部 医療技術学科 客員教授 嶋津 秀昭

【医療工学を学ぶ】 医療工学と聞くと、なにやら物理学の難しい公式や電気回路などがありそうで、潜在的に苦手意識を持つ方が少なくないと思われます。

ただ、医療工学に含まれる物理学の基礎知識は、科学的思考の基本ですので、医療におけるさまざまな現象や仕組みを理解する上で役立ちます。最新の工学的な成果のすべてを理解することは無理だとしても、原理や装置に対する基本的な理解、また医療安全を学ぶうえでは必要不可欠な知識となるのです。

【医療情報を学ぶ】 医療で使われるさまざまな生体情報は、コンピュータを使ってデータとして管理されます。医療情報は、検査結果だけではなく、カルテに記載される個人の医療履歴や、医療施設全体のシステムと結びついて、膨大なデータベースを構築していますし、情報管理や安全な運用を行うためには、セキュリティが重要な課題となります。

医療システムへアクセスする臨床検査技師にとっては、情報や通信の基本的な知識もまた、重要な学習課題となるのです。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座

『医用工学概論』『検査機器総論 第2版』『情報科学』



病態学

東京科学大学 臨床検査医学教授・検査部長 東田 修二

病態学では、病気概念や、発症する機序（病気がどのような要因で生じ、人体にどのような作用が働くのか）を学びます。ここで学ぶことは、各検査項目の意義を知り、全身的な見地から検査結果を解釈するのに重要となります。

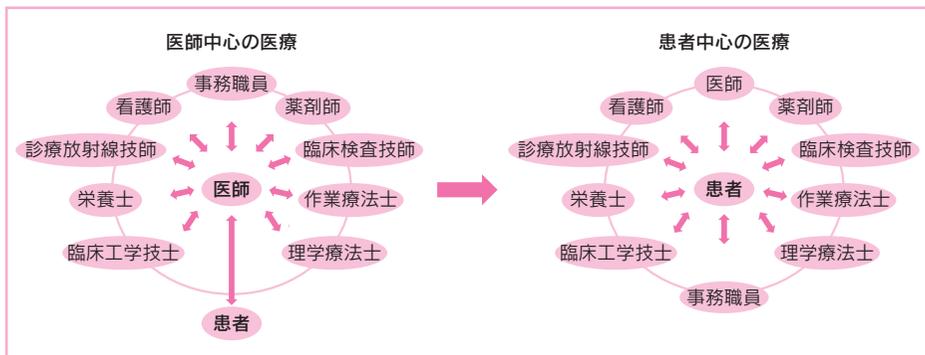
たとえば、腎機能低下（血清クレアチニン値上昇）の症状がある患者さんには、貧血（赤血球数減少やヘモグロビン濃度低下）が起こります。これは腎性貧血と呼ばれ、腎臓が悪くなると、血液を介して骨髄に運ばれ、赤血球産生を刺激するホルモンであるエリスロポエチンが腎臓で作られなくなることが原因です。この仕組みを知っていれば、腎機能低下の患者さんに対して、なぜヘモグロビン濃度やエリスロポエチン濃度を検査するか理解できますし、この患者さんが鉄分の多い食物を食べても貧血は治癒しないことが理解できます。病態学の知識により、適切な検査が、正しい診断や治療に結びつくのです。

また、病態学の一環として、栄養学、薬理学、認知症とその検査などについても学びます。

たとえば、現在多くの病院では、入院患者さんの栄養状態について、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士などが「栄養サポートチーム」を作り、皆で一緒に検討する仕組みがあります。このチームの一員として、臨床検査技師は、患者さんの検査値の結果に基づいて、現在の栄養状態をどのように評価するか、栄養不良の原因は何であるかを発言します。適切な病態の理解に基づいたアドバイスをすることで、栄養状態の改善、ひいては病気の早期回復に貢献できるのです。

また、薬の多くは、肝機能や腎機能の低下があると、効果が出なくなったり、副作用を生じやすくなります。臨床検査の結果を正しく評価することが、適切な薬物治療にも重要となるのです。

病態学は、病気概念や発症する機序を学ぶだけでなく、チーム医療や多職種連携とは何か、またその中で必要となる学問（栄養学、薬理学、認知症など）について広く学ぶ科目です。



チーム医療のパラダイムシフト

『最新臨床検査学講座 チーム医療論／多職種連携・栄養学・薬理学・認知症』より

血液学的検査

北陸大学 医療保健学部 医療技術学科 准教授 關谷 暁子

「血液学的検査」は、医療機関で最も多く実施されている検査のひとつです。血液学的検査には、大きく分けて「数の検査」「形の検査」「固まりやすさの検査」の3種類があります。これらの検査により、血液細胞そのものの病気（白血病など）だけではなく、貧血や感染症、栄養状態や代謝の異常など、全身のさまざまな異常がわかります。

「数の検査（血球計数）」では、血液1 μL 中に含まれる血液細胞（赤血球、白血球、血小板）の数や、ヘモグロビンの濃度などを調べます。

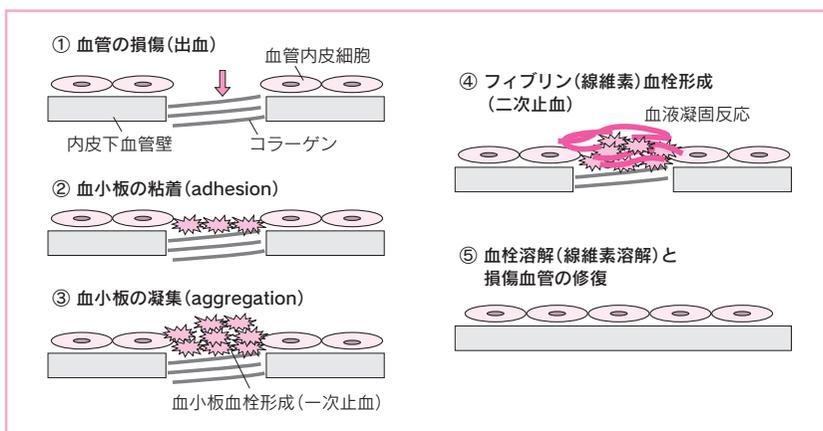
「形の検査（形態学的検査）」では、血液細胞を顕微鏡で観察し、細胞の形や細胞内の構造物の異常、白血病細胞の有無などをくわしく調べます。

「固まりやすさの検査（止血凝固検査）」では、血小板や血液凝固因子の働きを調べます。

臨床検査技師養成課程では、これらの検査を実施し、適切に報告するための知識や技術を習得します。講義では、血液細胞が作られる仕組みや、細胞の種類と数、形態や機能、出血が止まる仕組みなどの基礎知識を身につけます。また、血液細胞の数や機能に異常をきたす疾患（貧血や白血病）や、血の固まりやすさに異常をきたす疾患（出血性疾患や血栓症）についても学びます。

実習では、血液細胞の数の測定、血液標本の作製や染色、顕微鏡を用いた細胞形態の観察や分類、止血凝固検査などを、実際の血液を用いて実施します。

医療技術の進歩にともない、血液疾患の診断や治療方針の決定において、上記の検査に加えて、染色体や遺伝子の検査、細胞表面マーカー検査なども重要な役割を果たしています。さまざまな検査の結果から、総合的に病態を推定するための考え方や、報告の仕方についても学びます。



止血栓の形成

『最新臨床検査学講座 血液検査学 第3版』より



病理学的検査

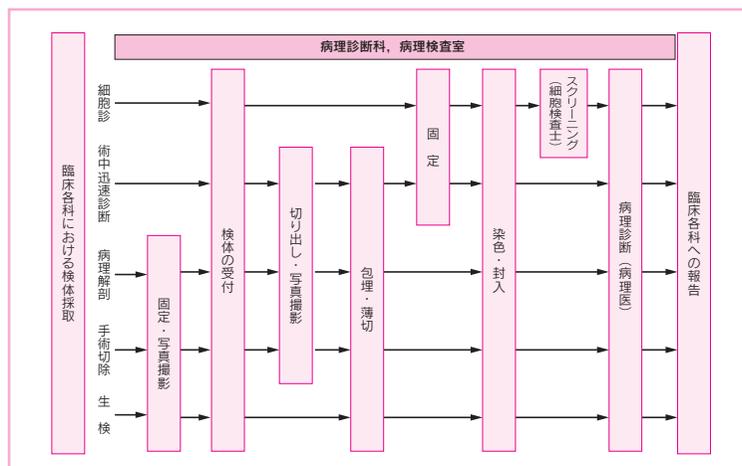
北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 臨床細胞学研究室 教授 古田 玲子

「病理学的検査」は、患者さんから採取した臓器・組織・細胞などを顕微鏡で観察し、多様な病変の診断や病気の原因を調べる検査です。病変部から小片組織を採取して調べる生検検査、手術で切除摘出された臓器・組織を肉眼的に観察して必要な箇所を切り出して病変の性状や広がりを知る手術検体検査、手術中の迅速検査、細胞検体を用いた検査（細胞診）、病理解剖など、さまざまな目的に応じて行われています。また病理検体は、治療方針を決めるコンパニオン診断として免疫組織化学的検査や遺伝子変異の有無を調べる検査、および多数の遺伝子を同時に調べる遺伝子パネル検査にも活用されています。

「病理学的検査に基づいた診断」は確定診断として位置付けられており、病理医によって医行為として行われますが、臨床検査技師は、病理検体の受付から組織の固定、パラフィンブロックの作製、薄切、染色など、病理組織標本作製までのいくつもの工程を担っており、専門的な知識と繊細な「匠（たくみ）の技」により医療に貢献しています。

細胞診では、臨床検査技師・衛生検査技師の国家資格を有し、さらに細胞学的な知識と技能を修得した細胞検査士（認定資格）が活躍しています。子宮頸部擦過細胞、尿、喀痰などの剥離細胞のスクリーニング、穿刺吸引細胞診での腫瘍の良悪判定、胸・腹水中の細胞判定、および病原体の検出など、各検体の性質や状態に合った検体処理法を選択し、細胞診標本の作製を行い、顕微鏡で標本を観察して、所見や判定を報告書へ記入するところまでを細胞検査士が行っています。

病理学的検査を担うためには、専門知識と経験、急激な医学・医療の進歩と業務拡大に柔軟に対応し得る向上心、そして倫理観が重要です。目的意識を持って勉学に励んでください。



疾病的検査の過程
『最新臨床検査学講座 病理学 / 病理検査学』より

尿・糞便等一般検査

順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科 教授 宿谷 賢一

一般検査の主な検査は、尿検査になります。この尿検査は、皆さんが学校検診の中で「検尿」として毎年経験している最も身近な臨床検査です。

尿検査の歴史は古く、“医療の父”と呼ばれるヒポクラテス (Hippocrates, BC460 ~ 377 頃) の時代より実施されています。臨床検査技術の発展に伴い、臨床検査は細分化され高度の技術が開発されるようになる一方、尿検査の位置づけは、基本的な検査として、クリニックから大学病院までの検査室で実施されていることから、臨床検査技師が必ず習得しなければならない検査技術になります。

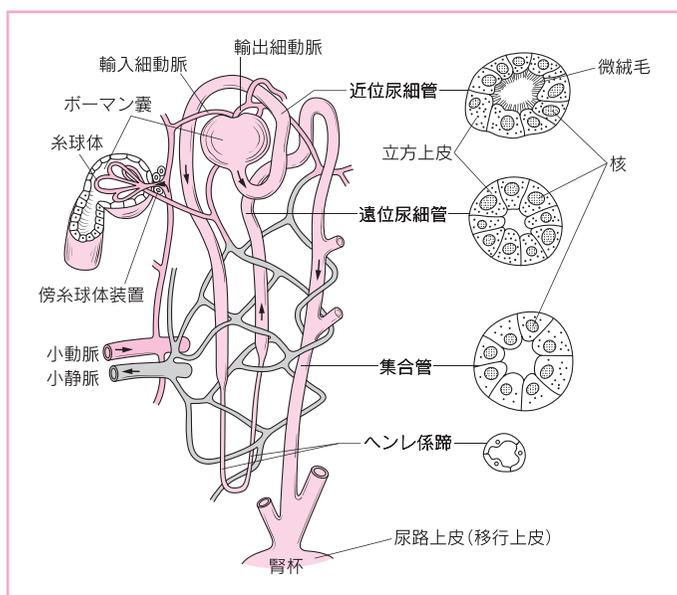
一般検査の取り扱う検査材料(検体)は、血液以外の検査材料である尿、糞便、髄液、体腔液、喀痰、胃液、関節液、精液などのあらゆる体液を扱い、化学的検査法および形態学的検査法の両者からアプローチする検査として位置づけられています。

たとえば、血液の中には赤血球と白血球があることはご存知かと思いますが、血液以外の体液の中にも極少数ですが、赤血球と白血球が認められます。尿路感染症では、尿に白血球が増加して、細菌も認められ、顕微鏡検査にて鑑別しますし、大腸がんでは、糞便に出血によるヘモグロビンが混ざりこみますので、免疫学的検査法でヘモグロビンを検出します。

また、糞便検査では、ヒトに感染する寄生虫の検出のため、顕微鏡検査にて寄生虫卵を鑑別します。

一般検査は、いわゆるスクリーニング検査としての一面を有しており、他の検査との関連性が重要になります。尿検査は、患者の負担が少ない非侵襲的検査(生体へ傷害を与えず、直接接触することなく実施できる検査)であり、この検体から多くの生体情報を得ることができれば、理想的な検査といえるでしょう。

現在の一般検査学は、臨床検査技師等に関する法律の改正に伴い「尿・糞便等一般検査」という名称になっており、一般検査学のほか、寄生虫学についても学ぶことになります。



血液をろ過して尿を生成させるネフロンの構造
『最新臨床検査学講座 一般検査学』より



生化学的検査

群馬パース大学 医療技術学部 検査技術学科 学科長/教授 松下 誠

血液は赤血球や白血球などの細胞成分と血漿^{けっしょう}の2つに分けることができます。この血漿中には、たんぱく質、糖質、脂質、酵素、電解質など生体に必要なさまざまな成分が含まれており、これらの成分は血液を介することで全身の細胞に供給されています。

「生化学的検査」とは、血漿（または血清）中に溶け込んでいる多様な成分を定量し、人の健康や病態の把握のために必要な生体情報を提供する学問領域と考えることができます。そして、この生化学的検査は現在の医療の中では最初に行われる「基礎的検査」に位置付けられています。

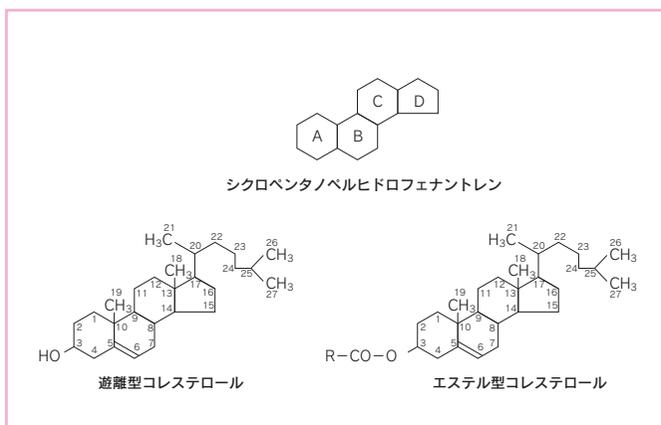
そのため、これらの検査は病気を早期にスクリーニングすることを目的としており、主に肝疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病、脂質異常症などを見つけることができます。

たとえば、採血して検査を実施した際、血糖値が126 mg/dL（血漿100 mL中にグルコースが126 mg含まれることを示す）以上では、糖尿病と診断されます。このような診断基準は、日本全国どこの医療機関でも同じ値で統一され、これを臨床検査の標準化とよんでいます。

また、現在では生化学自動分析装置を用いた検査が中心となっており、測定された検査データを保証することが大切となっています。そのためには、それぞれの検査の臨床的意義、検査法の理論や原理および分析装置の仕組みなどを幅広く学び習得する必要があります。

また、放射性同位元素を用いた検査法は、腫瘍マーカー、ホルモン、薬剤などの微量成分の定量が可能となります。これらの検査については、「放射性同位元素検査技術学」として学びます。

最後に、生化学的検査や放射性同位元素検査技術学は、高校時代の生物、化学、物理が応用されていますので、基礎的なことは早めに復習しておくことをお勧めします。



コレステロールの構造
『最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 第3版』より

遺伝子関連・染色体検査

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 医用検査学系 微生物・遺伝子解析学分野 教授 片岡 佳子

この科目では、「ヒトの遺伝子や染色体の異常が強く関係する病気、たとえば白血病や大腸がんなどの悪性腫瘍や、親から子へ遺伝するさまざまな疾患の診断のための遺伝子検査 / 染色体検査」と、「感染症の原因微生物の検出や同定のための遺伝子検査」について学びます。

細胞は、遺伝子の塩基配列情報をもとに、多様なタンパク質や化学物質を作って生命活動を営んでいます。さらに、ヒトを含む多細胞生物では、細胞間の情報のやり取りによって、特定の時期に、特定の臓器が機能を果たすよう制御されています。

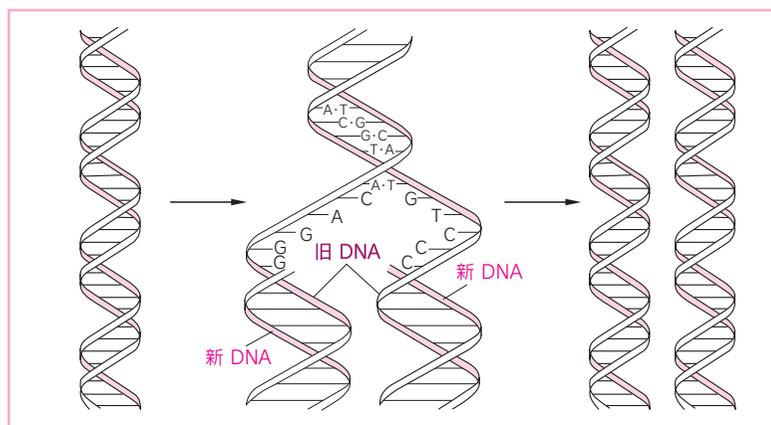
ところが、さまざまな原因により、遺伝子や染色体の構造や数に異常が起こることがあります。たとえば、がん（悪性腫瘍）の場合、無秩序に増殖する異常細胞の出現により、正常な臓器の機能が失われ、本来とは異なる部位への転移も起きてしまいます。また、同じ臓器のがんであっても、異常細胞内の遺伝子異常の種類や重複度はさまざまで、患者さんごとに多様な特徴を持っているのです。

ヒトの遺伝子関連・染色体検査では、がんの組織や血液細胞などから染色体標本を作製したり、核酸（DNA や RNA）を抽出し、異常遺伝子の検出や塩基配列の決定などを行って、病気の原因となる遺伝子異常を明らかにします。その結果を病理検査などの結果と統合することによって、より詳細な診断や、個々の患者さんに最適な治療法を選択することに、大きく貢献することができます。

感染症の遺伝子関連検査では、細菌やウイルスに固有の遺伝子をターゲットにした核酸増幅法（PCR 法等）により、迅速な検出と診断に寄与しています。病原体の遺伝子型を明らかにして、より効果のある治療へ結びつける役割もあります。

遺伝子関連検査は、技術発展が著しい分野ですが、そのぶん医療におよぼす影響も大きいものがあり

ます。検査材料の採取から、適切な検査法の選択と精確な実施、結果の妥当性の評価までを担う臨床検査技師は、この領域において非常に重要な役割を果たしているのです。



DNA 半保存的複製の模式図

『最新臨床検査学講座 遺伝子関連・染色体検査学 第3版』より



免疫学的検査

つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科 教授 窪田 哲朗

新型コロナウイルス感染症のおかげで、皆さんも最近は免疫に関連した話題を耳にすることが多くなっていることでしょう。たとえば、ワクチン接種を受けると、2～3週間経過して体内に抗体が産生され、ウイルスの感染を防いだり、重症化しづらくなります。

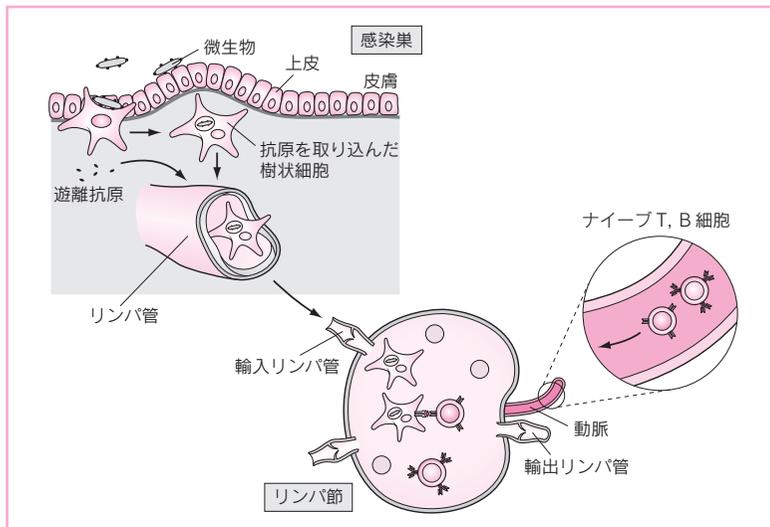
しかし、時間が経って血液中の抗体量が少なくなってきたり、ウイルスが変異して構造が変わってしまうと、その効き目が減弱するので、また追加の接種を受けなくてはなりません。

このように、私たちの体に免疫反応を引き起こす原因物質を「抗原」と呼びます（上記の例では新型コロナウイルスにあたります）。

体内に侵入した抗原を取り除こうとして免疫反応が起こり、その結果、リンパ球や形質細胞によって作られるたんぱく質が「抗体」です。

新型コロナウイルスに対して作られた抗体は、新型コロナウイルスと結合することで感染を防ぎますが、構造の異なる別のウイルスとは結合しません。

この考え方を応用したのが、迅速抗原検査キットです。まず研究室で抗体を人工的に大量生産し、それを小型の機器の中に染み込ませておきます。そこに患者さんから採取した鼻腔ぬぐい液や唾液を加えると、もしウイルス抗原が存在する場合は、抗体と結合して10分ほどで発色するようになっています。最近では、このような免疫反応を利用した抗原検査が、さまざまな感染症の病原体の検出に用いられるようになってきました。



抗原の侵入経路

『最新臨床検査学講座 免疫検査学／輸血・移植検査学 第2版』より

この科目では、私たちの体に備わっているさまざまな免疫反応の仕組みや、感染症、アレルギー、腫瘍などによって引き起こされる免疫反応の実際、免疫反応を応用した臨床検査法などについて、講義と実習でくわしく勉強します。またこうした知識は、病態学など多くの科目の理解にもつながります。

輸血・移植検査

埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科 学科長 / 教授 小野川 傑

私たちのからだをくまなく流れる血液や、物質を作り出したり浄化したりする臓器は、生きていくうえで欠かせないものですが、それらが不足したり、機能が低下してしまった場合に、改善するための治療法が輸血や移植です。

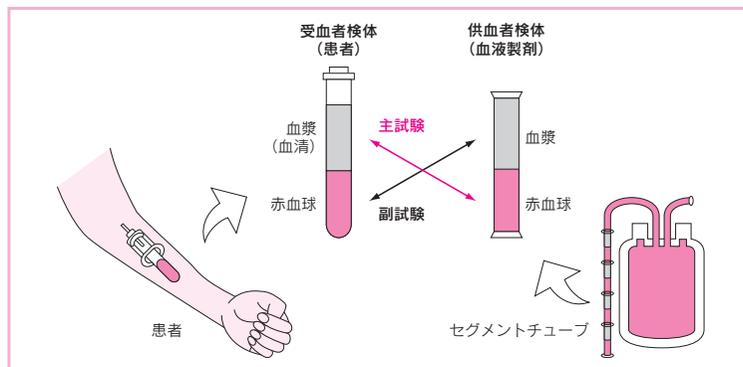
とはいえ、血液が不足したり、臓器の機能が低下したからといって、簡単に補充したり交換したりすることはできません。治療に用いる血液や臓器は、他人の善意に基づき提供されたものであり、私たちのからだに備わっている免疫のはたらきが、それを自分のものとはみなさず、攻撃をしてしまうからです。そして、組み合わせによっては、患者さん自身のからだを滅ぼすほど、激しい反応が起こる場合もあります。

では、どうすればよいのでしょうか。ここで、「輸血・移植検査」が必要になってくるのです。輸血・移植検査では、本来自分のものではない血液や臓器を、どのようにして免疫系に対し「自分」と勘違いさせるかという、いわば“^{だま}騙しのテクニック”を学びます。その際にかかせないのが免疫学の知識であり、免疫学で学んだ基礎知識を臨床へと応用するのが、本科目を学ぶ目的ともいえます。

皆さんはここで、血液型やHLAといった組織適合抗原や、それに対する免疫応答について学びます。また、組織適合抗原は、人それぞれで異なるため、どの程度まで異なる組み合わせが許容されるかについても、事前の検査で確認しておくことが求められます。

たとえば、輸血では誰の血液でも使用できるわけではなく、A型の人は、B型やAB型の赤血球を受け入れることができません。こういったことを、単なる「暗記」ではなく、どうして受け入れられないか、その「理由」をきちんと学ぶのです。

このように輸血・移植検査では、ジグソーパズルを完成させるような感覚で、免疫系を騙す策を考えていくという、実際の臨床へ直結する内容を勉強します。



患者血液と輸血用血液の交差適合試験

『最新臨床検査学講座 免疫検査学／輸血・移植検査学 第2版』より



微生物学的検査

神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科 教授 大澤佳代

微生物とは、肉眼では見ることができない小さい生物のことで、顕微鏡を用いると観察することができ、一番小さいウイルスのほか、細菌やカビの仲間の真菌など、さまざまな種類が存在します。これら微生物は、普段私たちの身体の中で共存しているものもあれば、病原体として感染症を引き起こすものもあります。

特に入院している患者さんは病原体に対する抵抗力が非常に弱くなっているため、とても注意が必要で、感染症の症状が出た場合、その原因となる微生物を検出することが重要になります。

たとえば、「細菌の発育に必要な栄養物質を入れ、それを寒天で固めた培地へ、感染症の疑いがある患者さんから採取した血液・尿・糞便・痰などを塗布する」(写真1)という細菌の検出方法があります。培地を孵卵器ふらんきに入れて35～37℃で培養すると、次の日には細菌が目視できるくらいまで大きくなり、これを集落といいます(写真2)。この集落の一つをスライドガラスに塗布して染色し、顕微鏡にて色素や形態の違いを観察することで、細菌を分類したり、さまざまな生化学的性状の違いから菌名を同定することができます。さらに、細菌に対する治療薬として有効な薬剤を調べるため、薬剤感受性試験を行います(写真3)。この培地には原因となる細菌を塗布しており、候補となる薬剤を置いて培養すると、次の日に薬剤の周りに細菌が発育していない阻止円が出来ます。その径が大きいほど、治療効果が期待できる薬剤と言えます。

また、ウイルスに対する検査法は、ウイルスを培養して検出するのではなく、ウイルスが体内に存在するのかどうかを簡単に測定できるキットを用いて検査するほか、免疫系の働きとして私たちの体内で作られる抗体の量を測定して、ウイルスに対する抵抗力の度合いを確認する方法が主になります。

このように、微生物学的検査は感染症の原因究明とその治療に役立ちますし、さらには病院内での感染制御にも関わってきますので、非常に重要な科目といえるでしょう。



写真1



写真2



写真3

生理学的検査

北海道大学大学院 保健科学研究院 病態解析学分野 准教授 加賀 早苗

患者さんと接して、患者さんから直接生体情報を取得する検査を「生理学的検査」といいます。ひとくちに生理学的検査とはいっても、循環器系の検査、神経・筋系の検査、呼吸器系の検査、感覚機能検査、画像診断検査など、さまざまな検査があります。ここでは、その一部を紹介します。

心臓は、自ら発する微弱な電気で収縮を繰り返します。その電気的な活動を体の表面からとらえるのが心電図検査です。これにより、心臓のリズムの異常や、心筋梗塞などの心筋障害の有無や場所がわかります。日常診療で広く用いられている心疾患発見のきっかけとなる検査です。

脳の活動も、微弱な電気現象を伴います。これを記録する脳波検査は、てんかんをはじめとする脳疾患の診断に役立ちます。脳死判定にも必須の検査です。

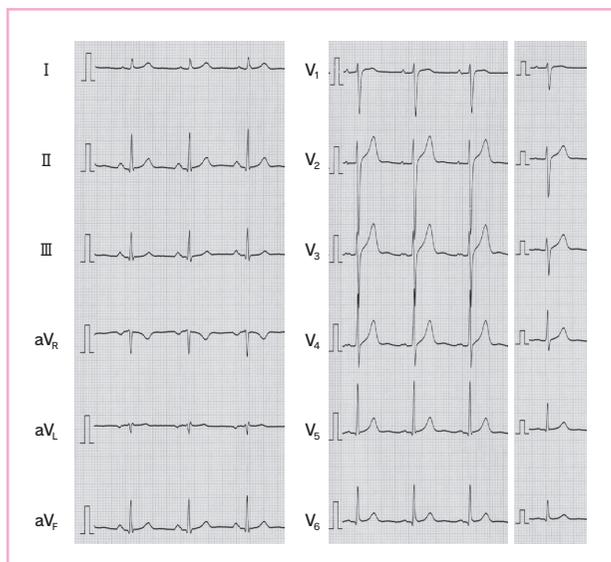
肺活量や息をはき出すスピードなどを測定する呼吸機能検査は、肺気腫など、慢性の肺疾患の診断に欠かせません。全身麻酔が必要な大きな手術を受ける前の検査としても行われます。

患者さんの体に超音波をあてて内部構造を画像としてみる超音波検査では、腹部、心臓、乳腺、頸部などのあらゆる領域で病気の診断に威力を発揮します。今では、その活躍の場は、検査室だけでなく、外来、病棟、手術室などにも広がっています。

生理学的検査では、生体情報を記録するための理論や手法はもちろんですが、得られたデータの判

読の仕方や、患者さんへの接し方も学びます。材料を扱う検体検査と違って、検査の対象が患者さんであるというのが生理学的検査の特徴です。

患者さんに安心して検査を受けてもらうためのコミュニケーション能力を身につけることもたいへん重要で、検査の質にも直結します。患者さんの不安や緊張を取り除き、検査に協力してもらうことが、信頼あるデータを臨床へ提供するための第一歩なのです。



正常パターン之心電図

『最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第3版』より



臨床検査総合管理

福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科 准教授 菅野 光俊

臨床検査は、健康診断、病気の早期発見や診断、治療方針の決定や治療効果の判定、経過観察を行うために有用な検査情報を提供することを目的に行われます。この目的を達成するには、正しい検査データを出すことが必要になります。

「臨床検査総合管理」では、臨床検査の意義や病院における検査部門の役割、検査室運営や検査の受付から結果報告の流れについて学びます。また、正しい検査データを提供するために行われる、さまざまな精度管理の手法、検査の精度保証体制、測定法の信頼性評価法など、質の高い医療を提供するために必要な基礎知識について学習します。

この学習から、医療における臨床検査の全体像を把握し、その重要性や臨床検査技師の役割を理解し、臨地実習や就職後の検査業務に役立てていただきたいと思います。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座 『臨床検査総合管理学 第3版』

医療安全管理

福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科 准教授 菅野 光俊

安全で安心な医療を提供することはすべての医療従事者の責務であり、医療安全管理に必要な知識・技術の修得が求められます。また、臨床検査は検体採取からはじまり、検体の正しい採取と取り扱い（保存・提出）が必要で、この過程のいずれの部分に欠陥があっても正しい検査データは得られません。

「医療安全管理」では、医療安全に必要な知識と検体採取に必要な知識・技術について学びます。昨今の医療法改正やチーム医療の実践に伴い、臨床検査技師の業務範囲は拡大し、検体採取は採血だけでなく、微生物学的検査を目的とするさまざまな部位からの検体採取なども可能となりました。また、採血を行う際の静脈路確保なども可能となり、ますます医療安全管理の実践が要求されてきています。

本科目が安全で安心な医療を提供するために、極めて重要な科目であることを意識して、学んでいただきたいと思います。

この科目で
役立つ
教科書

最新臨床検査学講座 『医療安全管理学 第2版』

臨床検査技師国家試験

1年

大切なのは、
1年生からの
基礎固め！



1年生のうちに基礎分野をしっかり身につけることで、専門分野や実習への理解度がまるで見違ってきます。疑問点やわからないところは、教科書を復習したり、図書館で調べる習慣をつけましょう。



...and more!

2年

臨床へつながる、
専門性を
習得する！



専門分野を学ぶことで、臨床検査技師として臨床の現場で活躍するために、専門的な知識や技術を幅広く習得していきます。授業で習ったことは、教科書を使ってしっかり復習しておきましょう。



...and more!



講義の予習・復習から、国試対策まで
役立つ参考書を有効活用！

教科書だけでなく、予習・復習や定期試験、国試対策や直前の総仕上げまで、幅広く活用できる参考書シリーズを入学時から活用することで、効率良く学習を進め、また知識を確実に定着させることができます！

ポケットマスター 臨床検査知識の整理 シリーズ
臨床検査技師国家試験出題基準対応



...and more!

合格へのスケジュール

3~4年



国家試験合格 へ向けて、 実力を養う！

身につけた知識・技術を活かし、
いざ臨地実習へ。実際の医療現場で多くのことを学んだあとは、
いよいよラストスパートです。
国家試験合格へ向けて、受験勉強や国試対策を計画的に進めましょう。



模擬試験



国試対策

国試合格を確実にする 問題集を有効活用！

臨床検査技師国家試験問題集
(2026年版は2025年初夏発行予定)

最新の国試を含めた10年分の国試問題・解説を収録。問題集とオンラインテストで効率よく国試対策を進めよう。

改訂中



模擬試験を 活用しよう！

国試と同じスタイルの「模擬試験」を体験することで、
本番でも実力を発揮することができます。定評と信頼のある『医歯薬出版 模擬試験』では、年3回の全国統一模擬試験、年1回の校内模擬試験を実施しています。模擬試験の概要など、くわしい情報は各校の担当教員に確認するとよいでしょう。



臨床検査技師国家試験実施（例年2月実施）



臨床検査技師免許取得



医療機関・医療機器メーカー・大学院など



国家試験について

- **目的** 臨床検査技師として一步を踏み出すために、必要な知識と技能を修得しているかをはかります。
- **試験** 年に1回、2月の第3水曜日頃に行われます。受験地は、北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県、沖縄県の全国9か所で一斉に実施されます。
- **試験科目** 医用工学概論（情報科学概論及び検査機器総論を含む）、公衆衛生学（関係法規を含む）、臨床検査医学総論（臨床医学総論及び医学概論を含む）、臨床検査総論（検査管理総論及び医動物学を含む）、病理組織細胞学、臨床生理学、臨床化学（放射性同位元素検査技術学を含む）、臨床血液学、臨床微生物学及び臨床免疫学となっています。
- **受験資格** 文部科学大臣が指定した学校または都道府県知事が指定した臨床検査技師養成所において、3年以上の教育を受け検査に必要な知識及び技能を修得したもの（見込も含む）、また大学において保健衛生学の正規の過程を修めて卒業した者（見込も含む）や指定の科目を修得した者（見込も含む）、医師・歯科医師・獣医師・薬剤師（卒業見込も含む）となります。受験資格は生涯有効で、合格するまで何度も受験が可能です。
- **試験** 5つの選択肢から1つまたは2つを選択する問題形式で、午前100問、午後100問の合計200問出題されます。試験時間は午前、午後各150分間になりますので、単純計算では1問あたり90秒間です。
- **合格** 合格の明確な基準は提示されていませんが、例年6割（120点）以上の点数をとった方全員に与えられています。
- **合格率** 年によっても変動しますが、他の医療職種に比べ難易度は高く75%前後です（過去に80%を超えた際は「高い割合」の印象がありました）。合格するまで受験は可能ですが、合格率に大きな開きがあります。新卒者の合格率が90%前後に対し、既卒者は25%を超えれば良いほうです。
- **最後に** 国家試験はあくまでも臨床検査技師として第一歩を踏み出すための確認試験です。まずはそれを通過し、社会人として経験を積み重ね1人前になってください。そのためにも教科ごとに行う勉強を縦・横・斜めのつながりで理解し、応用がきく臨床検査技師を目指しましょう。
国家試験は運で合格できるものではありませんので、入学時のやる気に満ちた気持ちを忘れず、仲間と一緒に頑張れば、必ず良い結果が残せると信じています。
合格率からみても、在学中にしっかり勉強し、1回で合格できる努力が必要です。合格は上位の人数ではありません。縁あって巡り合った仲間と共に知識を共有し乗り越えてください。
学校で出会った仲間や先輩、後輩、先生方は将来においても財産となります。ぜひ知的財産と人的財産の修得を目指し、頑張ってください。社会はあなたたちの活躍を期待しています。

九州医学技術専門学校 教務部長 坂口みどり



卒業後の道 就職について

東京医療保健大学 医療保健学部 臨床検査学専攻長／教授
千葉科学大学 名誉教授

三村 邦裕

ご入学おめでとうございます。臨床検査学について多くを学んで卒業した後は、臨床検査技師の資格を活かした仕事に就いてください。そして、学ぶことを忘れず生涯を通して社会に貢献できる人材になっていただければと思います。

1. 卒業後の道

卒業後の就職先は、養成施設により若干の違いはありますが、多くは大学病院や国立、公立、私立の一般病院が約70%と大半を占め、検査センターや健診施設（集団検診や人間ドックなど）が約20%になります。その他、分析技術の能力を活かして、検査薬・検査機器メーカーや保健所、科捜研、検疫所などに就職される方もいます。ここでは、代表的な就職先を紹介（次頁も参照）します。

大学病院 大学病院には、国立大学、公立大学、私立大学の附属病院があります。多くが特定機能病院になっており、その役割は高度な医療の提供と開発、評価、研修が行える施設となっています。そのため、医療における疾病の予防や診断方法の改善などの開発を通して、患者さんにとって有益な研究を行うこともできます。

病院 病院には一般病院、精神病院、地域医療支援病院などがあります。地域医療支援病院は、地域医療の実施に中核的な役割があり、地域住民の健康管理と疾病の治療を担っています。そのため、臨床検査技師として全般的な業務を経験することができます。

診療所（クリニック） 診療所は、病床（ベッド）を持たない（無床診療所）あるいは19床以下のベッドを持つ医療施設のことです。患者さんのプライマリケアである、かかりつけ医的な役割を担います。

衛生検査所（検査センター） 患者さんから採取された血液や尿などの試料（検体）を病院や診療所から預かり、検体検査を専門に行う施設のことです。近年は自動化が進み、迅速にそして一度に大量の検査を行うことができるようになりました。

2. 自分の目指す就職先に就くために

臨床検査技師としてチーム医療に貢献するためには、臨床検査技師の知識や技術を身につけているだけでは通用しません。そのために次のことを、学生時代に身につけるよう心がけてください。

まず一つ目は、コミュニケーション能力の形成。二つ目は、忍耐力を身につけること。そして三つ目は、人を愛する心と社会に奉仕することの大切さを知ることです。これらを修得できれば、自分の夢が実現可能となるばかりか、立派で素晴らしい臨床検査技師になることでしょう。どうか有意義な学生生活を送られることを祈念いたします。

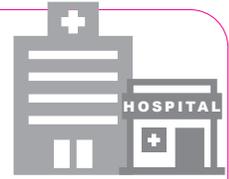
大学病院

診療・教育・研究の3つの機能を持っています。難治疾患が対象となるため、他診療科の医療スタッフと連携して、専門性の高い臨床検査を行うことも多くあります。高度先進医療にふれたり、研究を行う機会もあります



病院

病床が20床以上の医療施設です。大病院は大学病院と同じような役割を果たします。中病院では内科や外科治療など専門の特色を持つ病院が多くあります。小病院では地域密着型の診療施設となり、検査から健診業務、診療補助など幅広い業務を担当することもできます



いろいろなフィールドで 臨床検査技師の活躍の場が 広がっています！

診療所（クリニック）

病床を持たない、または19床以下の医療施設です。より地域に密着し、プライマリケア、かかりつけ医としての役割も果たします。生殖医療など、クリニックの専門性を活かした臨床検査を行うこともあります



健診センター

予防医療として健康診断を専門に行います。人間ドックなど健診センター内でも検査業務を行います。多くの場合は企業や教育機関へ出向き、採血や心電図検査など健診検査業務を行います



衛生検査所（検査センター）

検査設備を持たない病院や診療所から、検体を預かり、検査を専門に行います。大規模な検査センターでは、遺伝子関連・染色体検査をはじめ、特殊な検査を行っています



血液センター

献血の血液検査と、輸血用血液製剤の品質管理などを行います



医療機器メーカー/ 臨床検査薬メーカー

医療機器や臨床検査薬を研究・開発・販売する企業で、専門要員として様々な業務を行います



ほかにも「医薬品開発業務受託機関（CRO）」「治験施設支援機関（SMO）」など専門性を活かして活躍できる職場があります。自分に合った卒後の道を探してみてください！

授業の予習・復習から国試対策まで役立つシリーズ!

ポケットマスター 臨床検査知識の整理

臨床検査技師国家試験出題基準対応



シリーズの特徴

- 国試出題基準に沿って教科書の内容をコンパクトにまとめ、重要ポイントを効率よく学習
- 国試の出題傾向を反映した内容で、定期試験や国試対策にも活用
- ○×式と国試形式、2種類のセルフ・チェックで知識を確実に定着
- 便利な手のひらサイズ! キーワードや解答を隠せるチェックシート付き

シリーズラインナップ

- **臨床医学総論 / 臨床検査医学総論**
新書判変 322頁 定価 3,080円 (税10%込)
- **臨床化学** 第2版
新書判変 392頁 定価 3,630円 (税10%込)
- **臨床生理学** 第2版
新書判変 352頁 定価 3,300円 (税10%込)
- **病理学 / 病理組織細胞学** 第2版
新書判変 392頁 定価 3,630円 (税10%込)
- **臨床血液学** 第2版
新書判変 216頁 定価 2,200円 (税10%込)
- **臨床微生物学**
新書判変 352頁 定価 3,300円 (税10%込)
- **臨床免疫学**
新書判変 360頁 定価 3,630円 (税10%込)
- **遺伝子関連・染色体検査学** 第2版
新書判変 112頁 定価 1,760円 (税10%込)
- **一般検査学**
新書判変 136頁 定価 1,870円 (税10%込)
- **医動物学** 第2版
新書判変 120頁 定価 1,760円 (税10%込)
- **公衆衛生学 / 関係法規**
新書判変 192頁 定価 1,980円 (税10%込)
- **検査機器総論** 第2版
新書判変 120頁 定価 1,760円 (税10%込)
- **臨床検査総合管理学・医療安全管理学**
新書判変 224頁 定価 2,640円 (税10%込)

医療人の悩み Q&A 働き方の処方箋 ——人生を肯定的に生きる

山藤 賢 著

B5判 88頁
定価 1,430円(本体 1,300円+税10%)
ISBN978-4-263-22937-8

すべての医療人に通じる
「これからの働き方のヒント」
がこの一冊に!

- 教育者であり、医師であり、学校経営者である著者が、コミュニケーションの悩み、COVID-19感染拡大状況下における肯定的な生き方、個人と組織のあり方など、さまざまな悩みについて、対談形式のQ&Aで、ともに考え、応えていく一冊。
- 学生から、新人医療従事者、組織管理者まで、すべての医療人に通じる「これからの働き方のヒント」が満載!





臨床検査技師 臨地実習ハンドブック

市野直浩・坂本秀生・藤田 孝 編

B5判 304頁 定価4,620円(本体4,200円+税10%) ISBN978-4-263-22699-5

- 「臨地実習ガイドライン 2021」「改正臨床検査技師学校養成所指定規則」準拠。
- 新カリキュラムで定められた内容をすべて網羅し、標準的な臨地実習に必要な手技・知識をこの一冊で学修できる！
- 第1～2章では、臨地実習に関する基本的事項と検査業務全般にかかわる知識を解説。
- 第3～9章では、各種検査の手技の流れに沿って解説。臨地実習施設(臨地実習指導者)の視点を盛り込み、実習で学生に何を求めているのかまで掲載。



臨床検査技師 臨地実習ノート

三村邦裕・下村弘治・山藤 賢 著

B5判 216頁 定価1,540円(本体1,400円+税10%) ISBN978-4-263-22698-8

- 好評テキスト『臨地実習ノート 第3版』をリニューアルして新たに刊行！
- 「臨地実習ガイドライン 2021」準拠。
- 学生が臨地実習で使用する書式をすべて掲載(日本臨床衛生検査技師会承認済み)。学内での印刷・配布の手間なく使用できる。
- 別冊「評価基準書」(臨地実習指導者用)が付属。本体から切り離しが可能なので、実習部門ごとに使用できる！



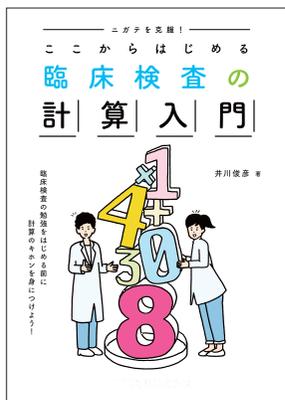
臨床検査技師のための 医学英語

実用会話・文献の読み方 **第2版**

奈良信雄・西元慶治 著

B5判 154頁 定価2,530円(本体2,300円+税10%) ISBN978-4-263-22685-8

- 臨床検査技師が関わる医療現場を中心に、実用的な医学英語を多数掲載！
- 実用会話のほか、英語論文、国際学会での発表、文献の読み方についても紹介。
- 検査の現場で使われる、37場面・423センテンスについて、ネイティブスピーカーによる無料音声ダウンロードできる！
- 第2版では、検体採取時の実用会話や、英語論文・国際学会の基礎知識などを新たに追加！



ニガテを克服！ ここからはじめる 臨床検査の計算入門

井川俊彦 著

B5判 112頁 定価1,980円(本体1,800円+税10%) ISBN978-4-263-22689-6

- 臨床検査をこれから学ぶ人に役立つ、キホンからわかる計算入門！
- マスターしておきたい計算の知識について、小学校の算数からわかりやすく解説。
- 四則、分数、指数、対数といった基本の計算はもちろん、臨床検査の勉強で必要とされる有効数字、濃度の計算、pH、電気回路、波など化学・物理の計算についてもわかりやすく紹介。
- 各項目に設けられた練習問題で、理解度をチェックしながら学習を進められる！